

見事に実った穂に笑顔を乗せて届けたい

新嘗祭献穀米拔穂式



大きく実った穂を前に喜ぶ松本さん夫妻

今年の新嘗祭で納めるコメの拔穂式が、9月16日、献穀奉仕者である松本洋一さん（根雨）所有の別所地内にある献穀田で行われました。

拔穂式には、献穀奉仕者の松本洋一さん、智津子さん夫妻をはじめ、林鳥取県副知事、景山町長、地元代表らが出席。拔穂式での神事の後、収穫感謝式が行われ、かすりの着物姿の御刈女6人と参加者全員で、田んぼに一列に並び収穫に感謝しながら丁寧に刈っていました。

今年の夏は冷夏の予報でしたが、

晴天と暑い日が続いたほか、栽培に栄養豊富な海藻肥料を使用したこともあり、無事に大きな穂を実らせました。

新嘗祭とは、稲の収穫を祝い、翌年の豊穰を祈願する古くからの祭祀で、各都道府県から選ばれた農家がコメやアワを奉納します。今後は、10月に脱穀、精米し、献上米の選別を行った後、皇居に献納する予定となっています。

松本さんは「無事に実りの秋を迎えることができうれしい。自信を持って献上できます」と笑顔を見せました。

実りの秋、収穫できる喜びを実感

根雨小学校稲刈り



真剣なまなざしで稲を刈り取る

根雨小学校の稲刈りが、9月14日、根雨小学校横の学校田で行われました。

台風の通過で稲刈りの日が一度延期になったものの、台風にも負けず大きな穂を揺らし、晴天の下、全校児童が汗を流しながら稲を刈りました。

今年は、晴天にも恵まれ例年以上の豊作となったもち米のヒメノモチ。保護者や地域住民が見守る中、児童らは1月に行われるもちつき大会を楽しみに刈り取っていました。

地域を活気ある姿に

とっとり共生の里がソバ、菜種の種まき



ソバや菜種の花が咲き乱れる風景を想像しながら

8月23日、菅福地区の住民50人と伯耆地区郵便局長会から68人の計118人が参加し、上菅地内のほ場などで、ソバや菜の花の種まき、水路の泥上げを行いました。

これは、菅福地区連合会（上田雅男会長）と伯耆地区郵便局長会（口田剛史会長）が、連携して取り組む「とっとり共生の里」の第1回活動として行われたものです。

参加者は、ソバや菜の花の種を、16坪の農地に一斉にまいていきました。菅福地区の住民からは「今後は同地区の敬老会などの行事にも参加してほしい」と期待を寄せる声が上がっていました。



地域のひととバーベキュー交流、会話も弾む



お姉ちゃんと一緒に日野川くだり、楽しいな

“人や地域を知る” 医師を目指して

鳥取大学地域料医療学講座の学生と医師が交流活動

8月20日、鳥取大学地域料学講座の医学生8人と同講座の谷口晋一教授、医師らが、町内で地元住民らと交流活動を行いました。

これは、鳥取大学地域医療学総合教育研修センター（日野病院内）が、医学生が大学では体験できない地域のひととの交流を通じて、その暮らしや環境などを理解できる医師に育ってほしいと行ったものです。

当日は、まず町内の小学校の子どもたちと、夏休み体験教室で行われていたラフティングで交流。子どもたちと一緒に笑顔でゴールを目指しました。

夕方からは、平成27年度健康づくりモデル地区に応募した黒坂3区（谷口貴史自治会長）の住民らとバーベキューをしながら交流を深めました。

同講座の谷口教授は「これから医師を目指す学生には、患者の暮らしや環境といった背景を知ってもらいたかった。これからも継続していきたい」と抱負を語りました。参加した学生からも「地域の人の優しさにびっくりした。医師になる前に地域を知れたのは良い経験になった」といった声が聞かれました。

昔の写真・資料収集にご協力を

町では、今後刊行予定の「日野町史（仮）」の編さんにあたり、まちのあゆみ・歴史を物語る写真や資料などを収集しています。

次のような資料をお持ちの方はご連絡ください。



第1回町民体育祭（昭和40年、日野産高）

①日野町および旧町村に関する写真（明治から昭和の建物や地域の風景、祭り、行事など）

②日野町および旧町村に関する資料（行政の刊行物、書籍、商店チラシ、映像記録など）

③その他歴史的資料（古文書など）

※これらの資料をお持ちの方は、下記連絡先までお知らせください。記録を取ったうえで、資料価値の高いものについては、町史編さんに使用させていただく予定です。

■連絡先 日野町史編さん室（役場企画政策課内）
（電話 72 - 0332）

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第27回

「ちようかんぼう」

「腹が痛いけん病院行ったら、ちようかんぼうだ言われたわあ」。漢字で書くと「腸感冒」。しかしなんと、これは山陰独自の呼び方なのだそうです。

正式？には、「感染性胃腸炎」といい、主にウイルスによる消化管の炎症のことです。

もし皆さんが山陰以外の病院にかかったときは、「先生、腹がにがていけんですけど、こりゃあちようかんぼううでしようかな？」などと言わないうがスムーズに診てもらえるでしょう。

日野弁ピックアップ「ち」

ちいと…ちょっと。少し。わずか。
ちかあて…近くて。 ちがあ…違う。
ちさえ…小さい。 ちびる…すり減る。摩耗する。
ちゃあな…というような。「ーことだわ」
ちゃぐち…お茶漬け。 ちゃんけん…じゃんけん。
ちゃんがらな…粗末な。出来の悪い。安物。
ちよっこえ…少し。 ちよっぱあ…軽薄者。
ちんじゃんどん…葬式。葬列。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会